



Step 1 : 一番の 基本は単語の「品詞」

最初に押さえておくべき構造情報（構造文法）は単語の「品詞」です。
品詞が苦手／よく分からないという方のために、7つの品詞を列挙しておきます。

- 名詞 (noun) : モノやコトを指す
- 動詞 (verb) : 動作を表す
- 形容詞 (adjective) : 名詞を修飾する
- 副詞 (adverb) : 名詞以外を修飾する
- 前置詞 (preposition) : 名詞の前に置き、修飾句を作ることが多い
- 助動詞 (auxiliary verb) : 動詞の前に置き、心的態度を表す
- 接続詞 (conjunction) : 語句や文をつなぐ

まずはちょっとしたテストです。次の英文に含まれるすべての単語について、それぞれ品詞を答えられますか？

それぞれの単語の下にあるカッコの中に、品詞の名前（漢字の頭文字、もしくは英語の略称（下線部分））を入れてみてください。

- A-1 The damage was visible to the eye.
() () () () () () ()
- A-2 They are searching for an expert.
() () () () () () ()
- A-3 Please contact me or John if you should encounter any
() () () () () () () () () ()
trouble.
()



品詞クイズ

では次は、実際の TOEIC 問題に近い英文を題材にして、品詞を考えてみましょう。それぞれの単語の下にあるカッコの中に、品詞の名前を入れてみてください。なお、形容詞か副詞かが分からない場合は「修飾語」の頭文字である「修」でも OK です。

A-4 Mr. Henze met with the manager to complain about the unexpected
() () () () () () () ()
change.
()

A-5 All personal information including address and credit card
() () () () () () () ()
details must be filled out before we can process your order.
() () () () () () () () () () () ()

A-6 With so much experience in the business, Sandra will be very
() () () () () () () () () () ()
valuable to the management team at Benzhen Real Estate.
() () () () () () () () ()

A-7 Experts around the world are researching the effects
() () () () () () ()
of long term exposure to radioactive fields on the human body.
() () () () () () () () () () ()



骨格を見つけるクイズ

それでは、先ほどと同じ4つの英文を題材にして、次の5つのルールに従って、印をつけてください。

- 1 名詞（句）には下線を引く
- 2 前置詞句は（ ）でくくり、to 不定詞句は [] でくくる
- 3 文の中で、一番最初に単独で登場する名詞にマーカーを引く
- 4 残っている副詞を（ ）でくくる
- 5 従属接続詞がある場合には、従文を [] でくくる

B-1 Mr. Henze met with the manager to complain about the unexpected change.

B-2 All personal information including address and credit card details must be filled out before we can process your order.

B-3 With so much experience in the business, Sandra will be very valuable to the management team at Benzhen Real Estate.

B-4 Experts around the world are researching the effects of long term exposure to radioactive fields on the human body.

このトレーニングは最初、面倒くさく感じるかもしれませんが、でも、しばらくの辛抱です。慣れてくると、いちいち考えなくても、無意識に処理できるようになり、リーディングのスピードが格段に上がります。そうなればしめたもの。ぜひちょっとだけ我慢して、面倒でもしっかりとやってみてください。



Step3 : 文の要素 / 文型

● 主語探しクイズ

次に、先ほどと同じ英文を使って、主語探しをしてみましょう。

英語では、文をすべて読まなくても（動詞が登場する前であっても）、**名詞が単独で登場した時点で「これが主語だ」と判断できます。**例えば、

C-1 Mr. Henze met with the manager to complain about the unexpected change.

という英文であれば、主語を見つけるだけであれば、

Mr. Henze met...

まで読めば十分なのです。

次の手順に従って、主語を探してみよう

- ゆっくりでいいので英文を1単語ずつ、頭から順番に、前に戻る（読み返す）ことなく読んでいく。
- 主語を見つけたら、その単語まで、もしくは確認のためにその次の単語までしか読まずに、主語にマーカーを引く

C-2 All personal information including address and credit card details must be filled out before we can process your order.

C-3 With so much experience in the business, Sandra will be very valuable to the management team at Benzhen Real Estate.

C-4 Experts around the world have been researching the effects of long term exposure to radioactive fields on the human body.



分類が 重要なのではない

ここまで、3つの文型について解説を行ないましたが、これは「覚えてください」という話ではありません。**大切なのは構文、つまり、単語同士のつながりをしっかりと“感じられる”ことなのです。**感じられなければ、文型という分類を暗記したところであまり意味がありません。

SVCに分類できる英文の場合には、きちんとSとVとCを見つけられ、S=Cという関係にあること。SVOであれば、VとOの関係性として、Oが直接の対象になっている、もしくはVの影響がOに届いていること。SVであれば、Vの動作がいわば自己完結していること。**ただ分類するだけではなく、そのような意味合いを構文からしっかりと感じ取れることが重要なのです。**

● 構文（動詞の働き）を感じよう

次のそれぞれの英文について、構文を感じ、そしてSVC、SV、SOに分類しましょう。

- E-1 She lives in Tokyo.
- E-2 She ran three miles.
- E-3 I haven't made a reservation yet.
- E-4 He cut the pizza for us.
- E-5 This knife doesn't cut.
- E-6 That sounds great.
- E-7 I got some flowers.
- E-8 I got tired.
- E-9 John was looking for you.
- E-10 It took an hour to download the file.

教師か誰かの発言なのでしょう。「あなたを（鍛え上げて）天才にしてあげる」ということです。

● SVOOかSVOCかを見極める

英文がSVOOなのか、それともSVOCなのか。そこで迷ってしまう人も多いでしょうから、そこを見極める方法をお伝えしましょう。

まず大切なのは、「感じる」こと。動詞の後に語句が2つ並んでいる時には、受け渡していそうなのか、それともイコールの関係がありそうなのか、まずは感じてみてください。

もちろん、動詞によって、SVOOになりやすいものもあれば、SVOCになりやすいものも、両方になり得るものもあります。それらを覚えてしまいたい…と思う人もいるでしょう。それも有効なやり方ですし、この後、例文を通じて解説します。しかし、その前にぜひ「感じる」ことから始めることをオススメします。

では、いくつか例文を見せますので、どちらの構文か（受け渡しなのか、イコールなのか）を感じてみてください。

- G-1 She gave me a lot of advice.
- G-2 I will get you some coffee.
- G-3 Don't get me wrong.
- G-4 Henry didn't tell me why.
- G-5 She made me a beautiful doll.
- G-6 She made me a better person.
- G-7 I saw her riding a bike.
- G-8 Everybody calls him Taro.
- G-9 Could you call me a taxi?
- G-10 My mother knitted me a sweater.